平成２３年７月１６日

放送コンテスト参加中学校長 様
　放送コンテスト担当教諭 様

群馬県小中学校教育研究会
情報教育部会
会　長　　松 村　　晃 人

# 群馬県中学校放送コンテスト兼第28回ＮＨＫ杯中学校放送コンテスト 群馬県大会結果報告について

平素から本教育研究会の各種事業につきまして、御理解と御協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、過日申込みいただきました放送コンテスト群馬県大会審査が下記の通り行われ、審査結果が出ましたので、入賞者一覧表・審査講評を送付いたします。また、今回 NHK 前橋より配布物がありますので、参加者にお渡し下さい。

賞状・賞品および参加賞等は、後日、発送いたしますので該当生徒への配布をよろしくお願いいたします。

記

１，日　時　　平成２３年７月８日（金）

２，会　場　　日本放送協会 前橋放送局　会議室

３，主　催　　群馬県小学校中学校教育研究会情報教育部会
　　ＮＨＫ前橋放送局　　ＮＨＫサービスセンター

４，審査員

《教育研究会》
　松村　晃人（会　　長：前橋市立芳賀小学校長）
　金井修一郎（放送担当理事：前橋市立南橘中学校長）
　飯野　隆宏（事務局次長：前橋市立岩上小学校教頭）
　後藤　一浩（書　　記：渋川市立渋川中学校教諭）
《ＮＨＫ》
　橋爪 秀範（アナウンサー）

５，参加校一覧

| № | 学校名 | 顧問名 | ｱﾅｳﾝｽ | 朗読 | テレビ | ラジオ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 新島学園中学校 | 小宮山　仁 | 2 | 2 | | |
| 2 | 吉岡町立吉岡中学校 | 木暮　敦美 | | 18 | | |
| 4 | 高崎市立矢中中学校 | 北森　章久 | | 1 | | |
| 5 | 高崎市立群馬中央中学校 | 湯浅　教子 | | 8 | | |
| 7 | 渋川市立渋川中学校 | 後藤　一浩 | | 1 | | |
| 合計 | | | 2 | 30 | 0 | 0 |

# 群馬県中学校放送コンテスト兼第28回ＮＨＫ杯中学校放送コンテスト
# 群馬県大会結果報告・入賞者一覧

## １　アナウンス部門

優秀賞　　佐藤　萌々子　新島学園中学校１年

**【優秀賞作品の上記１名は全国大会へ推薦・出品】**

優良賞　　須藤　李奈　　新島学園中学校２年

## ２　朗　読　部　門

| | | |
|---|---|---|
| 最優秀賞 | 嶋田　智文 | 高崎市立矢中中学校３年 |
| 優秀賞 | 後閑　優里菜 | 高崎市立群馬中央中学校３年 |
| | 髙橋　由衣 | 渋川市立渋川中学校３年 |
| | 菅野　琳子 | 新島学園中学校１年 |
| | 栗田　さくら | 吉岡町立吉岡中学校２年 |
| | 松岡　佑香 | 吉岡町立吉岡中学校３年 |

**【最優秀賞・優秀賞作品の上記６名は全国大会へ推薦・出品】**

| | | |
|---|---|---|
| 優良賞 | 安田　伊吹 | 吉岡町立吉岡中学校１年 |
| 奨励賞 | 野村　桃子 | 高崎市立群馬中央中学校２年 |
| | 徳田　魁斗 | 高崎市立群馬中央中学校１年 |

## ３　番組制作（テレビ）部門

応募なし

## ４　番組制作（ラジオ）部門

応募なし

### ◆応募に関してのお願い◆

例年、応募に関して全国大会事務局からも通達がきており、本県要項にも謳っておりますが、応募の際には全国大会要項を確認してください。**特に、カセットレーベルの作成・添付については、地区名は「群馬」・エントリーナンバーは「無記入」でお願いいたします。また、CDで提出する場合はソフトケースにいれて提出してください。**

また、録音レベルの低かったり、ノイズが入っていたりと、せっかくの作品なのに聞き取り難いものもあります。試し録りを行い、録音状態の確認をぜひお願いします。

## *全国大会について*

日時・会場

予選：平成23年8月6日（土）・7日（日）　－非公開－

決勝：平成23年8月19日（金）　－公開（9：00～17：00）－

決勝の審査会場－千代田放送会館2Ｆホール（東京都千代田区）

※予選・決勝ともに、あらかじめ提出されたテープで審査します。

**◎審査講評**

**○各部門共通（アナウンスメントについて）**

例年講評の中で言われていることだが、全体的に文章の読み込み不足がみられ、文を細かく切り過ぎる（句読点以外のところで切りすぎる）傾向が多く、ただ読んでしまっている作品も見られる。朗読は音読ではない。ただ声に出して読むのではなく、事前に黙読等を繰り返し行うことを通して、意味の解釈・文のつながりの理解を深め、聞いている者に伝えようとすることが大切である。このようなことを踏まえ、今大会では７作品を全国大会に推薦した。

細かく文を切ってしまったり、助詞や語尾が伸びてしまう作品や文末が下がっていない作品がまだある。文の意味・解釈を深めるために、注意深く読み込みを行うとともに、滑舌をはっきりとさせ、助詞や語尾の切り方にも注意して読み込んでほしい。そのために、大きな口を開けしっかりと滑舌や発声の練習をし、本番ではそのテンションを少し下げて、間の取り方や語尾の処理に気を遣うなどを今後の課題にしてほしい。句読点だけではなく文節のつながりを考えて息を継ぎ、一気に読み上げるのか、切るのかをよく読み込みながら考える必要がある。

**〇原稿作成について：**今年度は特に誤字・脱字等の不備は見られなかった。

**〇アナウンス部門について**

今回は２作品の出品であったが、須藤さん・佐藤さん（共に新島）は声が良く出ているアナウンスであった。佐藤さんは意味のまとまりを意識しており、そういった部分を一息で読めていて良かった。今後ははっきり口の開きや発音を意識して練習すると良い。須藤さんは大事なところを大切に読もうとしているところが感じられ良いアナウンスであった。アナウンスの差はほとんど無かったが、原稿作成、特に伝えようとする情報の量や質において、須藤さんの方が十分なものがあった。アナウンス部門で大切なことは、自分の身の回りの話題を伝えると視点で原稿を作成しなければならない。そのために必要な情報量や情報の内容が大切になってくる。原稿作成についても検討を重ねてほしい。須藤さんは、文庫の内容についてもう少し情報があるとわかりやすい原稿になった。

**〇朗読部門について**

最優秀賞の嶋田さん（矢中）は自分の声の幅を良く理解して、それを使った朗読ができていて素晴らしいかった。特に会話文のところでは細かな使い分けを意識的にできており、聞いている者に良く伝わる朗読であった。

優秀賞の後閑さん（群中）はしっかりと声をだせており、伝えようとしている朗読であった。髙橋さん（渋川）は説得力のある、良く伝えようとしている朗読でとても良かった。菅野さん（新島）は、伝えようとする意欲がうかがえる朗読であった。来年は原稿の抽出部分も情景がよく分かるようにすると良い。栗田さん（吉岡）は、とても聞きやすい朗読で良かった。松岡さん（吉岡）は、伝える意欲が良くうかがえる朗読であった。

優良賞の安田さん（吉岡）は１年生ながら伝えようとする意欲感じられる朗読であった。来年に向けて「し」の発音やその他の言葉の発音に気をつけて練習してほしい。来年も期待する。

奨励賞の野村さん（群中）は、明るい声で良く声も出ており、伝えようとしていた。徳田（群中）くんは、会話部分をよく頑張っており、情景を伝えようとしていた。また、惜しくも入賞はできなかったが、星野さん（吉岡）もとても元気のある朗読であった。これからは文章をしっかりと読み込んで、滑舌良く伝えるということを意識して朗読を行うとよい。吉沢さん（吉岡）も意味をとろうとしており、もう少し語れるように読みこむとよい。

ほとんどの作品の録音状態は良好であったが、もう少し工夫をしてほしい作品も見られた。学校の機材には、どうしても限界があるので、総合教育センターや生涯学習センター等の視聴覚関係の設備がある施設の活用も、１つの方法だと思われる

また、朗読に関する総合的な講評としては、本の中味をよく読んで腑に落としてから、わいてくる情感とその感情を伝えたい、そしてその感情をどう伝えるかというという気持ちを大切にして、朗読をしてほしい。そもそも朗読とは、読んで自分が気持ちよくなるものではなく聞いてもらうためのもの、作者の考えを自分なりに解釈し、それを聞いてわかるようにその情景や感情などの内容をしっかりと伝えられるかが大切となる。

まだまだ、文章を短く区切って読む傾向が見られたのは、残念であった。朗読の場合、文字を追って読んでしまっては朗読によるよさは伝わらない。いかに繰り返し読み込み、作者の考えや意図を自分なりに理解し、どのように伝えるかということを一層つかんでほしい点である。ＮＨＫラジオには朗読番組【「ラジオ文芸館」ラジオ第一　土曜日　午前 8:05 ～ 8:45】があるので参考に聞いてほしい。また、もっと声を出すために、体を使った発声の練習をしてほしい。